



2022年5月31日

**コーヒー豆かすの地域内リサイクルループで、地域とともに目指す環境負荷低減
千葉県産「サンブスギ」の壁材に、東金市の木「ラカンマキ」など四季を感じる植栽
ぬくもりを感じる木造店舗「スターバックス コーヒー 道の駅みのりの郷東金店」6月1日(水)オープン**

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社(本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):水口貴文)は2022年6月1日(水)、千葉県東金市に、国産材を使用した木造で、内外装の一部に千葉県産のサンブスギを用いたドライブスルー型店舗「スターバックス コーヒー 道の駅みのりの郷東金店」をオープンします。スターバックスが全世界で展開する環境配慮型店舗の国際認証「Greener Stores Framework」を取得したグリーナーストアの国内2号店で、店内利用時はマグカップ、または樹脂製のグラスでドリンクを提供し、使い捨て資材の削減を進めます。

また、東金市、三友プラントサービス株式会社(本社所在地:神奈川県相模原市、代表取締役社長:小松和史)と締結した「包括連携協定」に基づき、コーヒー抽出後の豆かすの地域内リサイクルループや食品廃棄物のたい肥化、自然エネルギーの災害時連携など店舗や道の駅を拠点に循環型社会の形成を三者で目指し、地域コミュニティへ貢献します。



■ **店舗から出るコーヒー豆かすを飼料化し、より地域に根差したリサイクルループに**
スターバックスでは、店舗から出る食品廃棄物の約70%を占めるコーヒー抽出後の豆かすをリサイクルしています。関東や関西の約200店舗で回収して飼料にリサイクルし、育てられた乳牛のミルクを店舗で使用するリサイクルループの仕組みを取り入れています。今後、道の駅みのりの郷東金店から出た豆かすを近隣の工場で飼料化し、市内の牧場で活用し、道の駅内で乳製品を販売する仕組みを三者で協業して構築し、地域内の資源循環を目指します。



また、店舗から出る食品廃棄物の一部は、道の駅内に設置されたコンポストを活用して、たい肥化し、道の駅の農作物の生育などに役立つなど、三者で食品廃棄物の資源循環を進めてまいります。コーヒー豆かすの飼料やたい肥の資源循環を通して、「千葉県立農業大学校」などとともに地域、そして地球の未来にとってポジティブな方法を模索します。

■ **太陽光パネルのエネルギーを店舗で使用。災害時は、非常用電源としての活用も**

スターバックスは、リソースポジティブの目標の一つとして、2030年までに二酸化炭素(CO2)排出量50%削減を目指しています。日本国内において、直接電力の契約が可能な路面の直営店すべて(約400店舗)で再生可能エネルギーに切り替えています。道の駅みのりの郷東金店は、屋根に太陽光パネルを設置し、そこから生み出されたエネルギーを店舗の電力として一部使用するほか、災害時についても、晴天時は非常用電源として活用できます。



■ 環境に配慮した国産木造。地元のサンブスギやラカンマキを通して感じるぬくもり

スターバックスは、環境負荷を低減し、木材資源の循環に貢献しながら、豊かな自然のある未来に思いをはせるきっかけをつくれるよう、CO2 固定の機能があり、建築時に CO2 排出も少ない木造店舗の出店を進めています。道の駅みのりの郷東金店は、国産材を活用したぬくもりを感じる木造で、店舗入り口付近の壁材には、千葉県産の「サンブスギ」を用いています。また、店舗を囲む植栽には、「植木のまち」と言われる東金市の木に指定されている「ラカンマキ」をはじめ、四季ごとに表情を変える木々や草花が、あたたかくお客様をお迎えます。



■ 店舗や道の駅、三友プラントサービスそれぞれが思い描く、地域とのつながり

スターバックス コーヒー 道の駅みのりの郷東金店は、道の駅や地域とどうつながりを育んでいくのか。佐久間ストアマネージャーは、「一人ひとりの行動は小さくても、その一歩が未来に続く道筋となっていくと信じています。できることから始め、地域の方と一緒に未来を作っていきたいです」と店舗への思いを語ります。スターバックス、道の駅、三友プラントサービスそれぞれの立場から思い描くビジョン、地域とのつながりについてのストーリーを紹介します。



<https://stories.starbucks.co.jp/ja/stories/2022/togane/> 2022年6月2日(木)公開予定

【店舗情報】

店舗名:スターバックス コーヒー 道の駅みのりの郷東金店

住所:千葉県東金市田間 1330-1 みのりの郷東金 / TEL:0475-50-3601

開店日:2022年6月1日(水) / 営業時間:8:00~22:00

面積:191.27 m² / 席数:59席(店内41席、テラス18席)

スターバックスは、リソースポジティブカンパニーを目指し、「2030年までにCO2排出量、水使用量、廃棄物量50%削減」のコミットメント実現に向けて、一歩ずつ歩みを進めております。「[Greener Stores Framework](#)」は、将来的にオープンソース化することにより、環境負荷の低い店舗づくりを、ほかの小売店舗でも推進できることを目指しており、日本では2021年12月、認証を取得した国内1号店「スターバックス コーヒー 皇居外苑 和田倉噴水公園店」をオープンしました。

◆スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996年に東京・銀座に日本第1号店を開業。全世界約80のマーケットで約34,000店舗以上、日本全国47都道府県において1,704店舗（2022年3月末時点、ライセンス店舗を含む）のコーヒーストアを展開しております。「人々の心を豊かで活力あるものにするために—ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」をミッションに掲げ、約4万人のパートナー（従業員）が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたたまるときを提供しております。2019年2月28日には、世界5拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。全国に広がる、人・社会、地球環境、地域とつながりを育むストーリーは、「[STARBUCKS STORIES JAPAN](#)」で紹介しております。

お客様からのお問い合わせ先 0120-336-388

※間違い電話が多くなっておりますのでお気を付けください
(10:00-18:00 年中無休、国際電話、IP 電話からは 03-5745-5890)